

第2次匠瑳市総合戦略 進行管理シート（令和3年度実績）

資料 3

| | |
|------|----------------------------------|
| 基本目標 | 1 ～そうさ!!匠瑳で働こう～ 地域における若者の雇用を創出する |
| 関係課 | 産業振興課 |

1 数値目標

| 指標 | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|---|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 市内民営事業所従業員数 | 12,205人 | 12,400人 | - | 11,627人 | | | | △ |
| 数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | 数値目標の出典は「経済センサス」である。 市内民営事業所従業員数の増加に向けては、市の様々な分野における一体的な産業振興が必要となる。そのため、下記具体的施策に掲げた事項をバランスよく推進していく必要がある。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | 今後も具体的施策を推進していくとともに、産業間の連携についても視野に入れながら取り組んでいく。 | | | | | | | |

2 具体的施策とKPI

(1) 農林水産業の活性化

① 「日本有数の植木のまち」の推進

| 指標 | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----|
| 1 植木の輸出相手国・地域数 | 13か国・地域 | 18か国・地域 | 13か国・地域 | 13か国・地域 | | | | △ |
| 2 千葉県植木銘木100選登録数 | 60本 | 70本 | 68本 | 71本 | | | | ◎ |
| KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | 1 輸出取引実績のある国と地域は、中国、香港、台湾、ベトナム、シンガポール、韓国、イタリア、ドイツ、フランス、チェコ、トルコ、ロシア、ウクライナである。 新型コロナウイルスの影響により海外での展示即売会が中止となり、海外バイヤーの渡航も無くなってしまったことから、輸出地域数は伸び悩んでいる。 | | | | | | | |
| | 2 千葉県植木銘木100選は、卓越した技術で仕立て上げられた植木を銘木として千葉県が認定する制度である。 令和3年度は、植木生産者から申請のあった植木3本が銘木として認定され、これによりKPIを達成した。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | 1 引き続き輸出についての情報収集や、生産者に対する財政支援等を行う。 | | | | | | | |
| | 2 今後も植木組合等と連携し、候補木の掘り起しを継続する。 | | | | | | | |

② 農業従事者の確保

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|----------------------|-------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 3 | 認定農業者数 | 273件 | 280件 | 242件 | 241件 | | | | △ |
| 4 | 認定新規就農者数 | 3件/年 | 4件/年 | 0件/年 | 1件/年 | | | | △ |
| 5 | 海匠農業経営体育成セミナーの新規受講者数 | 4件/年 | 5件/年 | 3件/年 | 4件/年 | | | | △ |
| 6 | 農地利用集積面積 | 431ha | 804ha | 455.5ha | 492.9ha | | | | ○ |
| KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 3 | 認定農業者は、農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村から農業経営改善計画の認定を受けた農業者である。No.4の認定新規就農者と同様、今後の地域農業の担い手となる意欲ある農業者として期待されている。 農業者の高齢化や後継者不足による労働力不足及び設備投資への負担により、認定農業者数が減少している。 認定制度や支援制度のPR等により、認定期間満了者の更新及び新規認定者の確保を図っていく必要がある。 | | | | | | |
| | | 4 | 認定新規就農者は、農業経営基盤強化促進法に基づき、市町村から青年等就農計画の認定を受けた農業者である。No.3の認定農業者と同様、今後の地域農業の担い手となる意欲ある農業者として期待されている。 農業事務所、農業協同組合、農業会議等の関係機関と連携しながら新規就農の掘り起こしを進めているが、就農者数は減少傾向にある。 認定制度や支援制度のPR等により、認定新規就農者の確保を図っていく必要がある。 | | | | | | |
| | | 5 | 海匠農業経営体育成セミナーは、海匠農業事務所が開催する青年就農者向けの通年講座である。 農業事務所、農業協同組合、農業会議等の関係機関と連携しながら新規就農の掘り起こしを進めている。 数に増減の波があり、農家数が減少している中で、就農者数は減少傾向にある。 | | | | | | |
| | | 6 | 農地利用集積制度は、地域農業の担い手に農地を集積する制度である。千葉県農地中間管理機構（農地バンク）を通じて規模拡大を図る担い手への集積を図る「農地中間管理事業」に取り組んでいる。一方で、担い手総数は減少していることから、農地利用集積面積の大きな増加とはなっていない。 | | | | | | |
| 今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 3 | 認定農業者制度のPRによる新規認定者の確保及び経営改善計画の策定支援や経営改善への取組に対する相談・支援活動により既認定者の再認定を促す。 | | | | | | |
| | | 4 | 認定新規就農者制度のPRによる新規認定者の確保及び就農計画の策定支援や経営改善への取組に対する相談・支援を行う。 | | | | | | |
| | | 5 | 農業後継者新規就農支援制度のPRと、県農業会議との連携で掘り起こしに努める。 | | | | | | |
| | | 6 | 利用権の終期に係る更新案内を徹底するとともに、農地中間管理事業を活用した農地集積の周知を図り、集積率の向上を目指す。 | | | | | | |

③ 農業の企業経営化の推進

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|-------------------|-------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 7 | 複合経営に取り組む農家(事業体)数 | 154件 | 200件 | 141件 | 134件 | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 7 | 市内の複合農家は、水稻経営との複合経営に取り組む農家が主である。 近年、水稻経営については、小規模農家から水稻専作の大規模経営体への経営委託が増加傾向にあるため、進捗は芳しくない。 | | | | | | |

| | | |
|---|---|---|
| <p>今後の方針等</p> <ul style="list-style-type: none">・取組方針・実施予定事項・課題解決方法 | 7 | 水稲複合農家の大幅な増加は見込めないため、それ以外の複合経営について、関係機関と連携し推進していく必要がある。 |
|---|---|---|

④ 農林水産物の高付加価値化・高収益化の推進

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|--------------------|-------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 8 | 6次産業化に取り組む農家(事業体)数 | 17件 | 20件 | 22件 | 22件 | | | | ◎ |
| KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 8 | 6次産業化は、生産から加工・流通(販売)までを一体的に行う農業経営である。既にKPIを達成している。その一方、6次産業化に取り組む農家数は、近年横ばいの状況が続いており、大きな動きがみられない。 | | | | | | |
| 今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 8 | 海匠農業事務所や6次産業化サポートセンターなど、県の機関と連携し、6次産業化や農商工連携を志す農業者への積極的な支援を行っていく。 | | | | | | |

(2) 産業振興及び産業間連携の推進

① 地域外からの企業誘致の推進

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|----------------------|-------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 9 | 地域外からの企業誘致数 | 1件/年 | 1件 | 0件/年 | 0件/年 | | | | △ |
| 10 | 企業誘致条例による奨励措置適用事業所件数 | 13件 | 20件 | 16件 | 17件 | | | | ○ |
| 11 | 空き店舗等活用支援数 | 6件/年 | 14件/年 | 4件/年 | 4件/年 | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 9 | みどり平工業団地については、現在全区画が利用中である。令和5年度開通予定である銚子連絡道路のインターチェンジ予定地周辺に産業立地を検討するため、匝瑳市産業立地検討会議を設置した。 | | | | | | |
| | | 10 | 「企業誘致及び雇用促進に関する条例」により、固定資産に対する固定資産税の課税免除、雇用奨励補助金の交付の奨励措置を行った。KPI達成に向けて順調に推移しているが、更なる制度周知が必要である。 | | | | | | |
| | | 11 | 店舗改装費及び店舗賃借料の補助を行う空き店舗活用支援事業を実施しているが、具体的な空き店舗の情報を求める声に対応できていないことが課題である。 | | | | | | |
| KPI実績値に対する課題等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 9 | 空き店舗、空き用地の情報を提供する仕組みを構築する。また、銚子連絡道路インターチェンジ周辺に企業誘致を行えるよう、産業用地としての受け皿づくりを行う。 | | | | | | |
| | | 10 | 県と連携して制度の周知を行うとともに、必要に応じて対象業種等制度の見直しを行う。 | | | | | | |
| | | 11 | 空き店舗、空き用地の情報を提供する仕組みを検討する。 | | | | | | |

② 起業支援の推進

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|----------|--|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 12 | 創業者数 | 7件/年 | 13件/年 | 6件/年 | 2件/年 | | | | △ |
| 13 | 経営相談指導件数 | 2,569件/年 | 2,800件/年 | 2,492件/年 | 2,200件/年 | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | <p>12 匠瑳市創業支援等事業計画に基づき、商工会と連携して、創業に必要な知識習得を目指す創業塾を実施したほか、創業資金利子補給金制度や空き店舗活用支援事業補助金により起業を支援した。</p> <p>13 市で起業等に係る相談を受けた際に、必要に応じて商工会が実施する創業支援事業等を紹介し、商工会での経営相談指導へつなげた。</p> | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | <p>12 創業塾の周知を図り、参加者を増加させる。また、創業塾等による経営ノウハウの習得等を通して、年間起業数の増加を図る。</p> <p>13 引き続き、商工会等と連携し、創業や経営の安定化に向けた支援を行う。</p> | | | | | | | |

③ 就労支援の充実による雇用の創出

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|------------------------|--|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 14 | 市内企業と若者のマッチング支援による就職者数 | 0人 | 10人 | 4人 | 0人 | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | <p>14 匠瑳市雇用促進協議会と連携し、既存の会社プロフィールを最新のものに更新した企業案内パンフレットを作成した。なお、新型コロナウイルスの影響により、合同説明会や出張ハローワークは未実施である。</p> | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | <p>14 引き続き、雇用促進協議会と連携した合同企業説明会の実施及び広報に注力する。</p> | | | | | | | |

④ 中小企業の経営基盤強化

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|----------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 15 | 融資及び利子補給制度利用件数 | 215件/年 | 250件/年 | 194件/年 | 146件/年 | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | <p>15 新型コロナウイルス感染症に係る国の融資制度が創設されたため、融資件数が減少していることから、企業に対する利子補給件数も減少している。本市の融資制度についても、融資利率の低減を行う等利用促進を図った。</p> | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | <p>15 事業者のニーズに応じた制度設計や融資利率の見直しを検討する。</p> | | | | | | | |

⑤ 効果的な観光情報の発信

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|-----------------------|-------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 16 | 観光ガイドブックによるおすすめルート設定数 | 9ルート | 10ルート | 11ルート | 11ルート | | | | ◎ |
| 17 | 匝瑳市をロケ地とする映画・番組数 | 6本/年 | 10本/年 | 1本/年 | 6本/年 | | | | △ |
| 18 | 歴史的建造物などを活用したイベント開催件数 | 2回/年 | 3回/年 | 0回/年 | 0回/年 | | | | △ |
| 19 | 匝りの里観光案内所利用者数 | 2,012人/年 | 2,200人/年 | 1,680人/年 | 1,788人/年 | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 16 | 文化と歴史など、テーマごとのコースを設定し、ホームページに掲載、そうさ観光物産センター匝りの里での紙媒体の配布を行っている。 また、テレビ番組や新聞広告でおすすめ散歩ルートの紹介を行った。 | | | | | | |
| | | 17 | 映画や番組の制作会社及び千葉県フィルムコミッションから、撮影に関する相談があったもののうち、撮影に至ったものは6件であった。 | | | | | | |
| | | 18 | 例年は4月及び11月に飯高檀林跡を活用したイベントが開催されているが、新型コロナウイルスに係る感染拡大防止の観点から、中止となった。 | | | | | | |
| | | 19 | 駅からハイキングや季節のイベントを実施したが、平時の状態まで利用者数は回復していない。 | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 16 | 引き続き、ルートの認知度向上や歩きたくなる仕掛けづくりを推進していく。 | | | | | | |
| | | 17 | 映画・番組等の制作会社と、ロケ地となる施設との調整を行い、ロケ誘致に努める。 | | | | | | |
| | | 18 | 「飯高檀林跡」に加え、他の歴史的建造物を活用したイベントの開催を検討する。 | | | | | | |
| | | 19 | 匝瑳市観光協会及びNPO法人匝瑳市観光物産協会と連携し、施設の集客イベントを引き続き実施していく。 | | | | | | |

第2次匠瑛市総合戦略 進行管理シート（令和3年度実績）

| | |
|------|--------------------------------|
| 基本目標 | 2 ～そうさ!!匠瑛で暮らそう～ 匠瑛市への定住促進を進める |
| 関係課 | 企画課 |

1 数値目標

| 指標 | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|---|--|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 社会増減数 | | ▲270人 (R2～R6) | ▲146人 | ▲334人 | | | | △ |
| 数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | 出典は「住民基本台帳」である。内訳は、令和2年が▲146人、令和3年が▲188人である。 下記具体的施策に掲げた事業を実施し数値目標の改善に努めてきたが、依然として人口減少に歯止めがかかっていない。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | 引き続き、取組を継続するとともに、移住・定住促進に係る先進事例の研究等を通して、事業・取組の充実を検討する。 | | | | | | | |

2 具体的施策とKPI

① 定住・移住人口の確保

| 指標 | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|-------------|--|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 20 転入者マイホーム取得奨励金を活用した転入者数 | 508人 | 1,018人 | 622人 | 708人 | | | | ○ |
| 21 空き家バンク登録物件数 | 38件 | 50件 | 43件 | 44件 | | | | ○ |
| 22 空き家バンク成約物件数 | 13件 | 28件 | 17件 | 20件 | | | | ○ |
| 23 移住・定住相談件数 | - | 20件/年 | 11件/年 | 4件/年 | | | | ○ |
| KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | 20 | 転入者マイホーム取得奨励金は、住宅を取得した転入者に対して奨励金を交付する事業である。市民課窓口や移住相談会、移住イベント、移住パンフレット（本市の紹介や移住者の体験談、各種移住支援制度をまとめたもの）等様々な媒体を通して、事業周知を行った。令和3年度は35件の申請があり、本事業による転入者数は86人であった。 | | | | | | |
| | 21 | 空き家バンクは、所有者から市に登録申込された空き家物件の情報を、物件利用者希望者に提供する制度である。納税通知書に空き家バンクに関するチラシを同封したほか、空き家問題全般を所管する都市整備課と情報共有や連携を図りつつ、制度の周知や空き家対策を図った。 その結果、所有者からの相談や連絡は増えた。物件の状態や価格等の条件により、利用の見込みが少ない案件についての相談も多い。 | | | | | | |
| | 22 | 物件に対する利用希望が寄せられているものの、買主負担の修繕が必要となる等の、物件状態や価格等の条件が買主と売主とで一致しないことにより、成約まで至らない例が多い。空き家バンクの制度や登録物件について、上記21のとおり周知した。 成約数のさらなる増加に向けては、登録物件数の増加、利用者のニーズに合った物件の提供（状態にこだわらず、安価な住宅を求める利用者が多い。）が課題である。 | | | | | | |
| | 23 | 移住相談は、来庁相談、電話相談、イベントでの相談、ZOOMを使用したオンライン形式の相談を実施している。令和3年度の相談件数は2件である。 千葉県、県内自治体、関係団体等と連携し、移住・定住イベントをオンライン形式で実施した。令和3年度は3回実施し、相談件数は2件である。 相談件数の増加のためには、本市の認知度向上や、より多くの方の本市に対する興味・関心を高めていく必要がある。 | | | | | | |

| | | |
|--|----|---|
| <p>今後の方針等</p> <p>・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法</p> | 20 | <p>転入者マイホーム取得奨励金制度は、10年以上の居住意思を要件としていることや、同制度の利用者アンケート等から、事業による定着効果が高いことが伺える。 引き続き、関連する移住・定住支援施策と併せて、制度の周知と活用促進を図る。</p> |
| | 21 | 引き続き、事業の周知を図る。 |
| | 22 | 引き続き、登録物件の周知を図るとともに、空き家所有者に対して利用者のニーズを伝える等、利用者のニーズに合った物件の提供に努める。 |
| | 23 | 引き続き、イベントや周知を通じて、匠瑛市の認知度向上と相談件数の増加を図る。 |

② 高校生のまちづくりへの参加

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|---|-----------------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 24 | 将来匠瑛市に居住する意思を持つ高校生の割合 | 7.7% | 15.0% | - | - | | | | - |
| <p>KPI実績値に対する課題等</p> <p>・実施事項 ・実績値の要因 ・課題</p> | | <p>24 例年、高校生がよかつべ祭りに参加する機会を提供していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、よかつべ祭り自体が中止となった。 千葉県海匠地域振興事務所や地元企業との連携により例年実施していた「地元企業との意見交換会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。代替策として、参加予定高校に市内企業の情報を送付した。 「匠瑛市と高校生との意見交換会」を開催し、高校生からのまちづくりに関する提案について意見交換を行った。 地元産業や地域に対する理解を深めることは、将来の地元定着やUターンにもつながることから、今後も高校生が地域のことを知り、関わる機会の創出が必要である。</p> | | | | | | | |
| <p>今後の方針等</p> <p>・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法</p> | | <p>24 若者が主な構成員となる団体等の地域づくり等の公共的な活動への後援等により、当該活動を支援し、若者の当該活動に対する参画を促進する。 また、今後も、ボランティア情報等の情報提供や、よかつべ祭りへの参加を継続するとともに、高校生が本市を知り、親しみを持てるよう、高校生が参加できる事業を増加させる。 地元企業との意見交換会や、市長との意見交換会等を通じて、高校生が地域のことを知り、学ぶ機会を創出する。 高校等との協働により、「自ら課題を見出し、周囲と協力して解決する力」の育成の一環として市民提案型事業（子どもまちづくり提案型）の提案の促進や、まちづくりへの意見の提案等ができる環境を整える。</p> | | | | | | | |

③ 生涯活躍のまちづくり

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|---|---|-------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 25 | 事業地内のサービス付き高齢者向け住宅に移住した各年度末時点の移住者数 | - | 30人 | 0人 | 14人 | | | | ○ |
| 26 | 事業地内の施設において、新たに雇用された各年度末時点の労働者数 | 29人 | 48人 | 117人 | 143人 | | | | ◎ |
| 27 | 市及び事業主体に移住相談を行った事業地内のサービス付き高齢者向け住宅への移住相談者数 | 16人 | 120人 | 66人 | 161人 | | | | ◎ |
| 28 | 事業地内の地域交流拠点施設に設置する農産物直売所（ミニスーパーマーケット）における農業就業者1人当たりの年間収入額 | - | 600千円 | - | - | | | | - |
| KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 25 | サービス付き高齢者向け住宅は、令和4年2月に運営を開始した。令和3年度末での入居者数は32名であり、うち移住者は14名である。 | | | | | | |
| | | 26 | 事業地内の3施設（認定こども園、特別養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅）において新規雇用が行われ、既にKPIを達成済みである。 | | | | | | |
| | | 27 | 事業周知や移住希望者への情報提供の拡充を図るため、同法人が都市部住民に向けたPR・プロモーション活動としてパンフレットを作製し、配布した。移住相談会において、事業周知を行った。サービス付き高齢者向け住宅の入居者募集の開始に伴い、相談件数は大幅に増加した。 | | | | | | |
| | | 28 | 新型コロナウイルス感染症の影響により施設の整備・運営に遅れが生じており、農産物直売所は開設準備中である。開設に向けて、市は農業者団体・農業者等との意見交換や協議を支援した。 | | | | | | |
| 今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 25 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス付き高齢者向け住宅の運営開始は令和4年2月までずれ込むこととなったが、運営開始後は入居者数は順調に推移しており、今後のKPI達成が見込まれる。引き続き、PR・プロモーション活動・体験会等の実施、新型コロナウイルス感染症対策の徹底と新しい生活様式に基づいたサービス提供による安全と安心の確立、お試し住宅と暮らしの相談窓口を通じた生活相談体制の確立等を通じて、移住希望者への周知や移住の機運をより高めていく。 | | | | | | |
| | | 26 | KPIは達成済みであるが、事業地内の施設運営が本格化し始めることから、新規雇用は今後もさらに増加する見込みである。 | | | | | | |
| | | 27 | KPIは達成済みである。上記25のとおり、引き続き、移住希望者への周知や移住の機運をより高めていく。 | | | | | | |
| | | 28 | 農産物直売所の開設に向けて、引き続き農業者団体・農業者等と意見交換や協議を支援する。 | | | | | | |

第2次匠瑛市総合戦略 進行管理シート（令和3年度実績）

| | |
|------|--|
| 基本目標 | 3 ～そうさ!!匠瑛で育てよう～ それぞれの結婚・出産・子育ての希望を満たす |
| 関係課 | 福祉課、健康管理課、学校教育課、企画課 |

1 数値目標

| 指標 | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|---|--|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 合計特殊出生率 | 0.98 | 1.62 | 1.10 | - | | | | - |
| 数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | 出典は「千葉県合計特殊出生率の推移（市町村別）」であり、令和4年6月現在、令和2年までの結果が公表されている。 下記具体的施策に掲げた事業を実施し、結婚・出産・子育て等、それぞれのライフステージに合わせた支援を行った。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | 引き続き各施策の実施・充実に努めるとともに、ホームページ等において各種取組に関する情報をわかりやすく提供する。 | | | | | | | |

2 具体的施策とKPI

① 子育て世代のコミュニケーションの充実

| 指標 | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|--|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 29 年間つどいの広場利用者数 | 6,599人/年 | 9,000人/年 | 3,158人/年 | 4,785人/年 | | | | △ |
| 30 子育てサークル数 | 1サークル | 2サークル | 0サークル | 0サークル | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | 29 乳幼児を持つ親子が気軽につどい、情報交換や交流のできる場所を提供するとともに、子育てアドバイザーによる子育てに関する相談も行っている。 毎月の遊び会（講習会）も概ね予定通りに開催できたことから、利用者数も増加傾向にある。 | | | | | | | |
| | 30 利用者に子育てサークルについて直接周知した他、ホームページ、広報による子育てサークル活動の場の提供に係る周知を行ったが、サークルの新規設立には至らなかった。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | 29 つどいの広場は子育て支援に関する情報や相談・助言を提供する場として引き続き重要な役割を担うこととなる。研修等の受講による子育て支援アドバイザーのスキルアップを図るとともに、利用者の要望を参考に新たな講習会等を実施するほか、福祉課・健康管理課に開設された子育て世代包括支援センターにおいて、つどいの広場の周知を図り、利用を促進する。 | | | | | | | |
| | 30 民間団体が開催する子育てに関する講習会等を市が後援することで参加者拡大を図り、参加者同士の交流を促進して子育てサークル活動の活性化につなげる。子育て世代包括支援センターにおいてサークル活動の紹介、参加促進を図る。 | | | | | | | |

② 子育て世代の負担軽減

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|---|-----------------------|-------------------|--|---------------|---------------|------------|------------|------------|-----|
| 31 | 病児・病後児保育実施か所数 | 0か所 | 1か所 | 0か所 | 0か所 | | | | △ |
| 32 | 一時保育実施か所数 | 8か所 | 8か所 | 8か所 | 8か所 | | | | ◎ |
| 33 | 障害児保育実施か所数 (助成か所数) | 12か所 (0か所) | 12か所 (8か所) | 12か所 (0か所) | 12か所 (1か所) | | | | ○ |
| 34 | 育児休業取得率 | 男性2.8% 女性42.7% | 男性10.0% 女性50.0% | — | — | | | | — |
| 35 | 子育てについて不安や負担を感じる人の割合 | 4.3% | 3.0% | — | — | | | | — |
| KPI実績値に対する課題等 () ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 31 | 病児・病後児保育事業は、看護師等の人材確保に加えて、感染症等に罹患している児童を保育する保育室や医療設備の設置が必要となるため、既存の保育園等では実施が困難である。 | | | | | | |
| | | 32 | 現在、私立保育園(所)7園及び認定こども園1園において、一時保育を実施している。(実施施設: 榑海保育園、共興保育園、須賀保育園、平和保育所、匠瑳保育園、東保育園、栄保育園。あかしあこども園) | | | | | | |
| | | 33 | 現在、公立・私立保育園(所)及び民間認定こども園(公立: 4園、私立: 7園、こども園: 1園)において障害児保育を実施している。なお、障害児保育に係る助成金の支給基準を満たす保育士数を確保した私立保育園(1園)に対し、助成を実施した。(助成施設: 榑海保育園) | | | | | | |
| | | 34 | 出典は「第2次匠瑳市子ども・子育て支援事業計画のアンケート」である。令和2～3年度は本件に関する調査等が行われていないため、実績等はない。 育児休業取得率の向上に向けて、関係課と連携し市内公共施設等にポスター及びチラシを配布したほか、市ホームページを通じて情報提供を図った。 | | | | | | |
| | | 35 | 出典は「第2次匠瑳市子ども・子育て支援事業計画のアンケート」である。令和2～3年度は本件に関する調査等が行われていないため、実績等はない。 本基本目標に掲げた具体的施策や、第2次匠瑳市子ども・子育て支援事業計画に掲げられた施策を推進・実施した。 | | | | | | |
| 今後の方針等 () ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 31 | 現在、社会福祉法人 九十九里ホームが今年2月に開設した、「サービス付き高齢者向け住宅 聖アンナ館」の施設内において、当該保育スペースを確保する方向で調整を進めている。 | | | | | | |
| | | 32 | 今後も、引き続き民間保育園等8園において一時保育事業を実施する。 | | | | | | |
| | | 33 | 助成か所数増加の課題である保育士数の確保に向け、保育士の処遇改善を検討する。 | | | | | | |
| | | 34 | 既存の取組のほか、匠瑳市雇用促進協議会等を通じた事業者への制度周知を検討する。 | | | | | | |
| | | 35 | 引き続き基本目標に掲げた具体的施策や、第2次匠瑳市子ども・子育て支援事業計画に掲げられた施策を総合的に推進し、子育てについての不安や負担の軽減に努める。 | | | | | | |

③ 子どもたちの遊び場の確保

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|---------------|--|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 36 | 放課後児童クラブ実施か所数 | 12か所 | 12か所 | 12か所 | 12か所 | | | | ◎ |
| KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 36 児童の安全や衛生確保のための施設環境の改善を行った。 また、支援員等の適切な配置及び活動内容の工夫により、受入れ児童数の増加への対応を行い、より充実した活動を実施している。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 36 市内利用希望児童数を把握するとともに、今後の児童数の予想を参考にしながら、適切な児童クラブ数を維持又は拡大する。 ホームページ等において各種取組に関する情報をわかりやすく提供する。 | | | | | | | |

④ 安心して子どもを産み、育てるための環境づくり

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|------------------------------|--|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 37 | 積極的に育児をしている父親の割合 | 57.4% | 60.0% | 65.20% | 64.60% | | | | ◎ |
| 38 | 子育てをしていく上で、暮らしやすい地域だと思う市民の割合 | 63.2% | 70.0% | - | - | | | | - |
| KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 37 母子健康手帳や各乳幼児健診等の際に、父親の育児参加についての必要性について伝えており、H30年度よりも積極的に育児を行っている父親の割合が増加している。 | | | | | | | |
| | | 38 数値目標の出典は「第2次匠瑤市総合計画策定のための市民意識調査」である。令和2～3年度は本件に関する調査等が行われていないため、実績等は無い。 第2次匠瑤市子ども・子育て支援事業計画に掲げている施策の1つである、「子育て家庭への支援」として各種サービスの充実に努めている。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 37 引き続き、各健診時や相談時に父親の育児参加の必要性を説明していくとともに、両親学級や妊娠後期面接時にも父親の参加を促し、父親の育児参加の必要性を説明することで、子育てが始まる前から意識付けを行っていく。 | | | | | | | |
| | | 38 引き続き、第2次匠瑤市子ども・子育て支援事業計画に掲げられた施策の推進に努め、基本目標である「子育てをみんなで支えるまちづくり」の実現に向けて、各種サービスの更なる充実に努める。 | | | | | | | |

⑤ 婚活支援の充実

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|-----------|---|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 39 | 出会いの場参加者数 | 68人/年 | 80人/年 | 0人/年 | 0人/年 | | | | × |
| 40 | 婚活サポーター数 | 4人 | 10人 | 4人 | 4人 | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 39 出会い創出事業において、これまではティーパーティーや婚活セミナー等のイベントを開催を通じて、結婚を希望する方向けの出会いの場づくりを行ってきたところだが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、イベント開催については中止している。 不特定多数の参加者が飲食を伴って対面で交流するスタイルでのイベントの開催が困難であり、代替的な取組も難しい。 | | | | | | | |
| | | 40 平成29年8月に婚活サポーター制度を創設し、4名の婚活サポーターを委嘱している。 今後は、サポーターの増加に向けた取組や利用者向けの制度周知が必要である。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 ・取組方針 ・実施予定事項 | | 39 コロナ禍での安心で安全な婚活イベント等の開催について検討する。なお、令和4年度からオンライン形式でのイベントを開催する。 | | | | | | | |
| | | 40 婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続する。 対面式のイベント以外での結婚に向けた支援について、婚活サポーターの協力も得ながら検討する。 | | | | | | | |

第2次匠瑛市総合戦略 進行管理シート（令和3年度実績）

| | |
|------|---------------------------------|
| 基本目標 | 4 ～そうさ!!匠瑛でつながろう～ 地域との多様な連携を進める |
| 関係課 | 環境生活課、産業振興課、企画課、生涯学習課 |

1 数値目標

| 指標 | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|---|--|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 協働によるまちづくりが推進されている と思う市民割合 | 24.2% | 28.5% | - | - | | | | - |
| 数値目標実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | 数値目標の出典は「第2次匠瑛市総合計画策定のための市民意識調査」である。令和2～3年度は本件に関する調査等が行われていないため、実績等はない。 平成27年度に匠瑛市市民協働指針、匠瑛市市民協働推進条例を定め、平成28年度から同条例を施行する等、下記の具体的施策に掲げた取組をはじめ、各課の事業や市民協働推進の主管課である環境生活課での各種事業（市民提案型事業に対する助成等）を通して、協働の理念が根付くよう努めている。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | 今後も、協働について庁内及び市民周知を図りつつ、市の様々な事業の中に協働という視点を盛り込むよう努める。 | | | | | | | |

2 具体的施策とKPI

① 多様な主体による連携・協働の促進

| 指標 | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|--|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 41 市民提案型事業採択団体数 | 4団体/年 | 5団体/年 | 2団体/年 | 3団体/年 | | | | ○ |
| 42 市内企業と若者のマッチング支援による就職者数（再掲） | 0人 | 10人 | 4人 | 0人 | | | | △ |
| 43 婚活サポーター数（再掲） | 4人 | 10人 | 4人 | 4人 | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | 市民提案型事業は、市民等が主体的に取り組む事業を募集し、優れた提案に対して費用の一部を助成するものである。令和3年度は、団体ステップアップ支援が1団体（ワーカーズコープ）、子どもまちづくり提案型が2団体（飯高特別支援学校、八日市場小学校）の計3団体を採択した。 市内小中学校及び高等学校に加え、新たに、特別支援学校へ事業周知を行い、直接出向いで説明を行うことで当該特別支援学校から事業提案があったものである。また、匠瑛市市民提案型事業助成金交付要綱の令和元年度改正により、市内で活動する市外団体も、事業提案対象団体としたこともあり、市外団体であるワーカーズコープから事業提案があったものである。 なお、子どもまちづくり提案型以外の場合、事業費の1/3が自己負担となるため、市民団体等が申請をするにあたってのハードルとなっている。 | | | | | | | |
| | 匠瑛市雇用促進協議会と連携し、既存の会社プロフィールを最新のものに更新した企業案内パンフレットを作成した。なお、新型コロナウイルスの影響により、合同説明会や出張ハローワークは未実施である。 | | | | | | | |
| | 平成29年8月に婚活サポーター制度を創設し、4名の婚活サポーターを委嘱している。今後は、サポーターの増加に向けた取組や利用者向けの制度周知が必要である。 | | | | | | | |
| 今後の方針等 <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | 41 協働の取組を持続可能なものとし、地域に根付かせていくため、採択団体が自走可能となるよう資金確保等への仕組みづくりの支援を検討する。 | | | | | | | |

| | | |
|--|----|--|
| | 42 | 引き続き、雇用促進協議会と連携した合同企業説明会の実施及び広報に注力する。 |
| | 43 | 婚活サポーター及び利用者の増加に向けて周知を継続する。 対面式のイベント以外での結婚に向けた支援について、婚活サポーターの協力も得ながら検討する。 |

② 交流人口の増加

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|---|-----------------|----------------|---|----------------|----------------|------------|------------|------------|-----|
| 44 | 年間観光入込客数 | 999,039 人/年 | 1,020,000 人/年 | 672,322 人/年 | 698,574 人/年 | | | | △ |
| 45 | 宿泊客数 | 6,329 人/年 | 7,000 人/年 | 5,652 人/年 | 5,488 人/年 | | | | △ |
| 46 | 農業体験・交流イベント参加者数 | 416人/年 | 700人/年 | 65人/年 | 76人/年 | | | | △ |
| KPI実績値に対する課題等 | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 44 | 令和2年と比較して若干の回復はあったものの、緊急事態宣言の発令もあり、平時までは回復していない。 | | | | | | |
| | | 45 | 学生の長期休暇期間に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が出ていたため、合宿等の宿泊施設の利用は回復していない。 | | | | | | |
| | | 46 | 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、都市農村交流事業のイベントが中止となった。 | | | | | | |
| 今後の方針等 | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 44 | 新型コロナウイルス感染症の状況に柔軟に対応し、観光情報の周知に努め、入込客数の増加を図る。 | | | | | | |
| | | 45 | 宿泊業を営む企業の固定資産税免除措置等により、宿泊施設の誘致を図る。 | | | | | | |
| | | 46 | 新しい日常に対応した食育体験事業や都市農村交流事業を計画し、イベントが継続できる体制づくりを図る。 | | | | | | |

③ シティプロモーション活動の推進と関係人口の増加

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|---|---------------|-------------|---|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| 47 | 移住・定住相談件数（再掲） | - | 20件/年 | 11件/年 | 4件/年 | | | | ○ |
| KPI実績値に対する課題等 | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 | | 47 | <p>移住相談は、来庁相談、電話相談、イベントでの相談、ZOOMを使用したオンライン形式の相談を実施している。令和3年度の相談件数は2件である。</p> <p>千葉県、県内自治体、関係団体等と連携し、移住・定住イベントをオンライン形式で実施した。令和3年度は3回実施し、相談件数は2件である。</p> <p>相談件数の増加のためには、本市の認知度向上や、より多くの方の本市に対する興味・関心を高めていく必要がある。</p> | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 今後の方針等 | | | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 | | 47 | 引き続き、イベントや周知を通じて、匝瑳市の認知度向上と相談件数の増加を図る。 | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

④ スポーツを軸とした連携と交流づくり

| 指標 | | 現況 (H30) | 目標 (R6) | 実績 (R2) | 実績 (R3) | 実績 (R4) | 実績 (R5) | 実績 (R6) | 進捗度 |
|--|--------------|--------------|---------------|--------------|---|------------|------------|------------|-----|
| 48 | スポーツ教室への参加者数 | 4,660 人/年 | 5,000 人/年 | 3,120 人/年 | 3,804 人/年 | | | | △ |
| 49 | パークゴルフ場利用者数 | - | 24,000 人/年 | 8,174 人/年 | 11,489 人/年 | | | | ○ |
| KPI実績値に対する課題等 （ ・実施事項 ・実績値の要因 ・課題 ） | | | | 48 | 昨年度よりは増加したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中断した教室があり参加者数は例年より減少している。今後も利用者増加のため施策を行っていく必要がある。 | | | | |
| | | | | 49 | 令和3年度は11,489人の利用があった。 パークゴルフ教室の開校やパークゴルフそうさ公認コース認定記念大会、パークゴルフそうさスプリング大会を開催した。また、サイクルラックを設置し、サイクリスト誘致を図った。引き続き利用者数増加のための施策を行っていく。 | | | | |
| 今後の方針等 （ ・取組方針 ・実施予定事項 ・課題解決方法 ） | | | | 48 | スポーツ教室の周知・企画を今後も行っていく。 | | | | |
| | | | | 49 | 教室・講習会の実施や大会の企画等の利用者数増加につながる施策を今後も実施していく。 | | | | |

重要業績評価指標(KPI)の状況
令和4年3月現在

| KPI全体の状況 | | ◎ | ○ | △ | × | － | 計 |
|----------|------|------|------|------|-----|------|-----|
| ① | 該当件数 | 8 | 11 | 24 | 1 | 5 | 49 |
| ② | 率(%) | 16.3 | 22.4 | 49.0 | 2.0 | 10.2 | 100 |

◎+○ 件数 19件 率 38.8 %

| 基本目標1 ~そうさ!!匠で働こう~ 地域における若者の雇用を創出する | ◎ | ○ | △ | × | － | 計 |
|--|---|---|----|---|---|----|
| | 3 | 2 | 14 | 0 | 0 | 19 |
| (1)農水産業の活性化 | ◎ | ○ | △ | × | － | 小計 |
| | 2 | 1 | 5 | 0 | 0 | 8 |
| ① 「日本有数の植木のまち」の推進 | 1 | | 1 | | | 2 |
| ② 農業従事者の確保 | | 1 | 3 | | | 4 |
| ③ 農業の企業経営化の推進 | | | 1 | | | 1 |
| ④ 農林水産物の高付加価値化・高収益化の推進 | 1 | | | | | 1 |
| (2)産業振興及び産業間連携の推進 | ◎ | ○ | △ | × | － | 小計 |
| | 1 | 1 | 9 | 0 | 0 | 11 |
| ① 地域外からの企業誘致の推進 | | 1 | 2 | | | 3 |
| ② 起業支援の推進 | | | 2 | | | 2 |
| ③ 就労支援の充実による雇用の創出 | | | 1 | | | 1 |
| ④ 中小企業の経営基盤強化 | | | 1 | | | 1 |
| ⑤ 効果的な観光情報の発信 | 1 | | 3 | | | 4 |

| 基本目標2 ~そうさ!!匠で暮らそう~ 匠都市への定住促進を進める | ◎ | ○ | △ | × | － | 計 |
|--------------------------------------|---|---|---|---|---|---|
| | 2 | 5 | 0 | 0 | 2 | 9 |
| ① 定住・移住人口の確保 | | 4 | | | | 4 |
| ② 高校生のまちづくりへの参加 | | | | | 1 | 1 |
| ③ 生涯活躍のまちづくり | 2 | 1 | | | 1 | 4 |

| 基本目標3 ~そうさ!!匠で育てよう~ それぞれの結婚・出産・子育ての希望を満たす | ◎ | ○ | △ | × | － | 計 |
|--|---|---|---|---|---|----|
| | 3 | 1 | 4 | 1 | 3 | 12 |
| ① 子育て世代のコミュニケーションの充実 | | | 2 | | | 2 |
| ② 子育て世代の負担軽減 | 1 | 1 | 1 | | 2 | 5 |
| ③ 子どもたちの遊び場の確保 | 1 | | | | | 1 |
| ④ 安心して子どもを産み、育てるための環境づくり | 1 | | | | 1 | 2 |
| ⑤ 婚活支援の充実 | | | 1 | 1 | | 2 |

| 基本目標4 ~そうさ!!匠でつながろう~ 地域との多様な連携を進める | ◎ | ○ | △ | × | － | 計 |
|---------------------------------------|---|---|---|---|---|---|
| | 0 | 3 | 6 | 0 | 0 | 9 |
| ① 多様な主体による連携・協働の促進(再掲2件) | | 1 | 2 | | | 3 |
| ② 交流人口の増加 | | | 3 | | | 3 |
| ③ シティプロモーション活動の推進と関係人口の増加 | | 1 | | | | 1 |
| ④ スポーツを軸とした連携と交流づくり | | 1 | 1 | | | 2 |

備考

◎・・・目標達成

○・・・順調に進捗

△・・・あまり進捗していない

×・・・戦略策定時を下回った・未実施

－・・・未判定(判定方法の実施時期ではない、等)

※ 数値及び取組内容等を総合的に判断